

がんプロフェSSIONナル
養成基盤推進プラン

がん看護学教育 国際セミナー

Knowledge transfer
in cancer care:
opportunities and challenges



報告書について

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科
教授 小松 浩子

平成 24 年度よりスタートしたがんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「高度がん医療開発を先導する専門家の養成」事業は最終年度を迎えました。慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科では、【高度最先端がん医療を支える専門看護師養成コース(修士課程)】【がん看護トランスレーショナルリサーチコース(博士課程)】を推進しています。これまでにグローバルに活躍できる看護師をめざし、がん看護学教育国際セミナーを継続開催してきました。

平成 28 年度がん看護学教育国際セミナーには、Winnie K.W. SO 先生 (RN, PhD, Associate Professor, The Nethersole School of Nursing, Faculty of Medicine, The Chinese University of Hong Kong) をお招きし、「Knowledge transfer in cancer care: opportunities and challenges」についてご講演頂きました。

どうぞご一読頂き、今後の実践や研究に生かして頂ければ幸いに存じます。



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン がん看護学教育国際セミナー

Knowledge transfer in cancer care: opportunities and challenges

2017年2月、慶應義塾大学看護医療学部（信濃町キャンパス）マルチメディカ
ンファレンスルームで「がん看護学教育国際セミナー」を開催した。Winnie K.W.
SO 先生は 2011 年から 2017 年にかけて自身が携わった研究プロジェクトを対
話形式で紹介、研究テーマの選定から資金調達の手法、プロジェクトの留意点
などを、体験をもとに語り、参加者に大きな刺激と啓発を与えた。



Winnie K.W. SO 先生

RN, PhD, Associate Professor,
The Nethersole School of Nursing,
Faculty of Medicine,
The Chinese University of Hong Kong

Seminar Schedule

- 日 時**：2017年2月6日(月) 15:00～17:00
- 会 場**：慶應義塾大学看護医療学部(信濃町キャンパス) 2階
マルチメディアカンファレンスルーム
- 司 会**：小松浩子
(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授)
- 講 師**：Winnie K.W. SO 先生
RN, PhD, Associate Professor,
The Nethersole School of Nursing,
Faculty of Medicine, The Chinese University of Hong Kong

Knowledge transfer in cancer care: opportunities and challenges

知識を实践へ、がんのケアをめぐる ノレッジ・トランスファーの旅

Winnie K.W. SO 先生

RN, PhD, Associate Professor,
The Nethersole School of Nursing,
Faculty of Medicine,
The Chinese University of Hong Kong



ノレッジ・トランスファーは長い道程で、 途中で多くの課題・問題がある

私は香港中文大学のウィニー・ソウです。香港中文大学は文學院、工商管理學院、教育學院、工程學院、醫學院、法律學院、理學院、社會科學院の8学部を擁する総合大学で、「香港で最も美しい大学」といわれています。

今日は私自身のノレッジ・トランスファーの経験をお話しします。ノレッジ・トランスファーは、とても長いプロセスで、途中で多くの課題・問題があり、その都度、難しい意思決定をしなければなりません。人によって問題意識や考え方は違いますから、意思決定の仕方や内容も大きく異なります。

今日は私のノレッジ・トランスファーの旅に皆さんをお招きします。皆さんには私が、いろいろな意思決定を迫られた場面を示しますから、私の立場になって考えていただくようお願いしたいと思います。

皆さんの考えや問題意識を、ぜひお聞きしたい。課題に直面したとき、皆さんだったら、どのような意思決定をされるのか。今日ご紹介するプロジェクトは、すべてが終わったわけではありません。皆さんからいただいた示唆やアドバイスをもとに改善していきたいと考えています。

夢を持っているだけでは十分ではない。 夢を現実化する方法を考える

私から皆さんに2つ質問したいことがあります。ひとつは「今から10年後にどうなっていたいですか」という質問です。例えば、今20歳だとしたら、30歳のとき、どういうふうな人になっていたいか。

例えば教職に就きたい、研究者になりたい、管理職になりたいといった夢があると思います。教職なら大学講師や教授、管理職ならマネージャーやディレクター、

あるいは臨床ナーススペシャリストやナースプラクティショナーになりたいと考えている人がいるかもしれません。3つの例を挙げましたが、これら以外になりたいものがあっても構いません。どうぞ発言をお願いします。

Aさん：博士号を取得した後、臨床にっていたいですね。臨床の实践とアカデミックなリサーチのバランスを保ちながら、臨床だけに偏らず、アカデミック一辺倒にもならず、ハーフアンドハーフのアクションをとりたいたいと思います。

今お聞きしたように、人によって夢は違います。では、その10年後の夢に向かって、どのようなパス（経路）を選択すればいいのでしょうか。研究者になりたい方がいらっしゃいました。臨床の研究者になりたい方、クリニカルナーススペシャリストになりたい方もいらっしゃいました。

夢があるのはいいことですが、夢があるだけでは十分ではありません。「夢を現実にするためには、どうすればいいか」も考えなければいけません。

目標を実現するために、どのパスを選べばいい のか、常に意識する

2つ目の質問です。がんのケアの研究を行う際、どのようなパスを選択されますか。いくつかの選択肢を申し上げますので、イエスと思える選択肢で手をあげてください。1つ以上、選んでも構いません。

「アドバンス・ナーシング・プラクティスをしたい方は？」

「がんのケアに関する知識をもっと増やしたい方」

「患者のアウトカムを改善させたい方」

「インパクトファクターの高い雑誌に論文を載せたい方」

「将来、教職に就きたいので、修士号や博士号を取得したい方」

皆さんにはゴール(目標)があります。目標を実現するために、どのパスを選べばいいのか。こうしたことを常に意識することが非常に重要です。

ノレッジ・トランスファーとは研究結果を臨床や実践、教育で生かすこと

本題に入ります。今日のテーマであるノレッジ・トランスファーとは、どういうことだと思われませんか。

Bさん：研究で培った知識などを臨床現場に生かし、実践して、その結果を研究にフィードバックし、また次の実践に生かすという繰り返しだと理解しています。

そうですね。研究結果を臨床や実践、教育で生かすことです。ここにいらっしゃる方は大半が修士号や博士号の学生さんですから、まさにノレッジ・トランスファーのスタート地点にいることになります。今、知識を生み出している最中か、今しも生み出した知識を実践に生かそうとされている方々かと思います。ノレッジ・トランスファーの旅をしているのは私ひとりではなく、皆さんもノレッジ・トランスファーの旅を始められた。

私は皆さんより年上なので、私の経験を共有させていただくことで、皆さんの参考になるかもしれません。ここで2011年から2017年に至るまでの7年間の自身のノレッジ・トランスファーの旅をご紹介します。

その前に、私の研究について、もう少しご説明します。私の研究テーマのひとつは、がんの緩和ケアです。看護師が患者さんや一般の人たちの健康やウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に安寧な状態)を改善できるようにエビデンスに基づいた知識へのアクセスを増やし、そうした知識を生かすことで進行性の疾患やがんの負担を緩和することをミッションとしています。

研究の結果を看護師が人々の健康やウェルビーイングの改善に生かすことができれば、究極的にはグローバルバーデン(世界疾病負担)を減らすことができると考えています。研究だけではなく、エビデンスに基づいた実践の開発も行っています。

研究プロジェクトに取りかかるとき、クリアしなければいけない条件がある

私たちの研究は、がんの予防から発見、治療、緩和ケアなどに関係しています。

大きな研究プロジェクトに取りかかるときは、いくつかクリアしなければいけない条件があります。第1に、いかに研究費を調達するかという問題。研究費や助成金をつけてくれるファンディングボディ(資金提供機関)を見つけなければいけません。第2に、研究者の研究経験や専門性が研究を遂行するのにふさわしいこと、第3に文献や先行研究でどのようなことがわかっているのか、あるいは、わかっていないことが何なのかを把握すること、第4に、今現在、社会で、どのようなことが一番問題視されているのか、何が必要とされているのかを知ることです。

最初の研究プロジェクト：「新しいファンディングボディを見つけよ」と上司から指示

さて、2011年、私は教員でした。教員の仕事の一部として研究を行い、知識を創出しなければなりません。研究、特に複数のメンバーが協働するプロジェクトを行うためには研究費が必要です。少なくとも1~2カ所のファンディングボディを見つける必要がありました。医療医学関係、医学看護関係の研究に対して研究費を助成しているファンディングボディを探します。

ある日、教員のミーティングが行われ、上司から私を含めた教員に対して「新しいファンディングソース(資金提供元)を見つけなければいけない。そのためには2012~2013年を射程に入れた公共政策研究のスキーム(パブリック・ポリシー・リサーチ・スキーム)を出す必要がある。そこにトライするように」という話がありました。当時は、たいへんにプレッシャーに感じました。公共政策と関係するような研究テーマを、どのようにまとめたらいいか、どのように提案したらいいか、まったくわからず、大きなプレッシャーを感じました。

皆さんが私の立場だったとします。学部長から、がんのケアに関する公共政策研究を出すようにといわれました。どのように対処しますか。公共政策に貢献するがんや緩和ケアの研究テーマは簡単には見つかりそうもありません。

学部長に「見つからない」と答えるか、「トライしたくない」と断るか、「少し考えてみます」と時間をもら

い、どのようなテーマがあるか調べて考えるか。皆さん、自分にあてはまると思う選択肢で、手を挙げてください。提案書・研究案を考えるにあたって、「もっと情報が必要だから調べたい、時間をかけたい」という方が多いですね。私もそうでした。

資金調達：ターゲットであるファンディングボディが関心のある分野をねらう

先ほど述べたように、研究に取りかかるにあたって、考えなければいけない条件があります。

第1に、ファンディングボディです。ターゲットとなっているファンディングボディが関心のある公共政策と関係あるものでなければいけません。研究テーマのリストが掲げられていました。大きなタイトルは社会、パブリック・アドミニストレーション（行政）／政府、経済の3つに分かれ、それぞれに項目が書かれていました。



いろいろな項目で医療や看護に関連していると思われるものがありました。私は当時、4の「高齢化社会に向けて」と5の「少数民族」がよいと思いました。高齢者をターゲットとした研究は、これまでも行なってきましたが、少数民族をターゲットとした研究は一度も行なったことがありません。とりあえず、高齢者か、少数民族の問題をねらうことにしました。どちらを選ぶかは、この時点では決めませんでした。

研究テーマを遂行できるだけの経験、専門性を備えているか

第2に考えなければいけないことは研究の経験や専門性（専門的な能力）があるかどうかです。私の専門分野は①がんの予防、②症状管理・サポーティブケア、③ QOL (Quality of life) です。

香港の高齢者をターゲットとした「がん検診」の研究にも共同研究者として携わったことがありますし、症状管理や QOL に関しては主任研究者を務めたこともあり

ます。化学療法における看護師の役割、吐き気や悪心（おしん）を招く化学療法の管理に関するもので、国際的な研究でした。他にも症状のクラスターや QOL、乳がん患者の QOL などの研究にも携わりました。

皆さんが私の立場だったら、次の3つの研究テーマのうち、どのテーマを選びますか。

Sources of Research Problem – Research Experience and Expertise

Research projects:

- Cancer prevention and early detection
 - A survey of the uptake of cancer screening in Hong Kong amongst Chinese older people
- Symptom experience / management and quality of life
 - Investigating the role of the nurse in managing chemotherapy induced nausea and vomiting – an international survey.
 - The symptom cluster and quality of life in patients with breast cancer undergoing cancer treatment.

1番目を選んだ方、どうして1番目がパブリックポリシーと関係があると思ったんでしょうか。

Cさん：さきほどのソーシャルのところのお話で、貧困家庭や少数民族では、がんの予防や早期発見が、まだ浸透していないのではないかと思います。

なるほど。私も、この時点では1番目かなと思っていました。このテーマであれば、経験や専門性はありますし、関係論文も、いくつか執筆しており、研究実績もありました。

文献を読んで、テーマとして取り上げる価値があるかどうかを確認

第3に文献にあたらなければなりません。つまり文献を読んで、取り上げる価値があるかどうかを確認することです。少数民族に関して、どのような研究・報告があるのか調べました。

香港の人口の5%は少数民族で、その大半は南アジアの人たちです。文献には西洋の少数民族は、がん検診を受ける割合が少なく、検診を受けるための障壁も多いと書かれていました。

香港の少数民族のがん検診の状況は、どうでしょうか。残念ながら、香港では同じような研究は、ほとんど行われていません。しかし、研究者にとっては悪いことではありません。先行研究が少ない領域なら、研究そのものに価値があるからです。知識や情報が少ないということは研究者にとっては願ってもないことでした。

テーマが社会的・政治的なニーズと合致しているかどうか

第4に研究テーマが社会的な問題となっているかどうかです。政府が発表した施策の中に「少数民族へのサポートサービスのステップアップを図る」とありました。「プライマリーケアサービスを向上させるために長期的な計画に着手する」とも書かれていました。これらの政策発表を受けて、私は少数民族に関する研究テーマは社会のニーズに合っていると考えました。

以上の4つの観点から研究テーマをどうするか、徹底的に考えました。

ファンディングボディのスコープの1つに少数民族が入っています。がんの予防や早期発見は私の専門領域です。公的な報告書や先行研究を見ると、少数民族のがん検診率が低いことはわかっていたのですが、香港の実情は不明です。香港は公共政策として少数民族へのサービスを向上させたい、プライマリーケアサービスを向上させたいと考えていました。

そこで私たちは研究テーマを「少数民族のためのがん予防サービスに対する視点：サービスのニーズと、その活用も含んで」としました。

研究費を得るためには研究計画書を提出し、6カ月待たなければならなかった

テーマが決まり、次は研究費を得るために研究計画書を書かなければなりません。香港では研究計画書を提出してから結果が出るまで、おおよそ6カ月、待つ必要があります。1月に提出しても結果がわかるのは6月になるのです。

香港では研究費を得るための競争が激しく、取れる確率は平均で20%に過ぎません。結果は次の4つの可能性がありました。

- ① すぐに研究費がついた
- ② 少し直せば研究費がつく
- ③ 大幅に研究計画書を改定しないと研究費はつかない
- ④ 不採用になった

私たちの研究案は、どうなったか。皆さん、どう思いますか。幸運にも、すぐに研究費がつかれました。とても珍しいケースです。私自身もチームのメンバーも驚きました(『JOURNAL OF ADVANCED NURSING』にプロトコルを発表しました。この研究案に関心がある

方は、そちらをご覧ください)。

問題・課題が結果的には、すべてオポチュニティ(好機)となった

いよいよ研究の開始です。ただ、少数民族を対象としており、民族によって話す言葉が違います。まずは対象の人たちに、たどり着くのが簡単ではありませんでした。言葉の問題もあり、3カ国語くらいを修士号している人をリクルートする必要がありました。英語だけでなく、その民族が普段使っている言葉を理解し、会話できないとデータを集められません。



少数民族の人たちに会うためには昼間ではなくて、夕方以降のほうがいいので、マンパワーのアレンジメントの問題もありました。私たちが普段働いている時間帯とは異なりますから、シフトさせる必要もありました。

翻訳の問題もありました。翻訳会社に頼みましたが、対象の少数民族が使っている言語を扱える会社も限られていました。

こうした、さまざまな問題・課題にぶつかりました。ただし、そうした問題・課題が結果的には、すべて私たちのオポチュニティ(好機)となりました。

ひとつはコミュニティセンターや少数民族とのネットワークをつくることができました。今まで直接コンタクトがなかったので知りませんでした。このプロジェクトを通して、たくさんの少数民族の人たちと知り合うことができました。とても協力的で、どうすれば少数民族の団体などにたどり着けるのか、いろいろ教えてくれました。

ふたつは少数民族の言葉を解し、データを集めてくれる人たちのトレーニングにもなったことです。この人たちには、このプロジェクトだけでなく、他の研究に協力してもらうことができます。

研究結果：少数民族のがん検診率が非常に低いことがわかった

研究の結果、少数民族のがん検診率が非常に低いことがわかりました。たくさんの大きな障壁（バリア）があることもわかりました。例えばヘルスリテラシーの低さ、言葉の障壁、健康サービスやがん予防サービスへのアクセスの問題、文化的な問題などがありました。

こうした研究結果に基づき、公共政策に対する提言を行ないました。

- 1 がんのスクリーニングを改善する医療政策として、3つの領域にフォーカスする必要がある。少数民族の場合、知識、言葉、文化的な違いである
- 2 コミュニティーのヘルスワーカーのための教育プログラムの必要性
- 3 子どもたちや若い人たち向けに、がんの予防やヘルスケアサービスへアクセスするための教育プログラムの必要性
- 4 医療通訳のトレーニングプログラムの必要性

ファンディングボディへの報告書に記載しただけでなく、いろいろなところへ研究結果を普及させる努力をしました。

2番目の研究プロジェクト：次のプロジェクトの研究テーマを設定

プロジェクトが終了したので、次の研究テーマを選ばなければなりません。終了したプロジェクトを踏まえ、次の4つを候補として考えました。

- 1 少数民族のためのヘルスプロモーションのパッケージの開発
- 2 コミュニティーのヘルスワーカーのためのトレーニングプログラムの開発
- 3 子どもたちや若い人たち向けに、がんの予防やヘルスケアサービスへアクセスするための教育プログラムの開発
- 4 医療通訳のトレーニングプログラムの必要性。

私が、どのテーマを選んだと思いますか。私は1番の「少数民族のためのヘルスプロモーションのパッケージ開発」を選びました。

資金調達：研究資金が多いプラン、少ないプランのどちらを選ぶか

研究に取りかかるためには別の研究費が必要になります。ヘルスプロモーションに関するファンディングボディ（ヘルスケア・プロモーション・ファンド）には2つのプランがありました。ファンドの方向性と私たちがやりたいと思っていることはピッタリと一致していました。

2つのプランのうち、どちらかにしかアプライできないので、どちらにトライするか、決めなければいけません。両方とも似ていますが、一方のプランは30万香港ドル、もう一方は50万香港ドルを用意していました。金額が多いほうが求められていることも多くなります。

私の立場だったとしたら、皆さんは、どちらのプランにアプライしますか。

（金額の多いほうに手を挙げた人が多かった）

私も金額の多いほうにしました。プロジェクトの研究テーマは「香港のサウスアジア女性の乳がん予防促進のためのマルチメディア開発」としました。

2013年7月に提出、翌2014年1月に結果が出ました。平均採用率は30%です。皆さん、結果は、どうなったと思いますか。現実には厳しいですね。大幅に計画書を書き直して再提出する結果になりました。

私たちも困りました。最初のプロジェクトは採用率が20%だったのですが、スムーズに認可されたので、少し油断しているところもありました。今回は最初のプロジェクトより採用率が高かったにもかかわらず、再提出となりました。

ただ、再トライする目途が残ったので最悪ではありません。ネガティブな面としては、もう1年待たなければいけなくなりました。計画書に対する評価委員会のコメントに「金額が少ないほうのプランに提出してみたら」と示唆がありました。どうやら、この案には、あまりたくさん研究費をつけたくなかったようです。

資金調達：並行して別のファンディングボディにも申し込んだ

そこで私たちは、どうしたか。私たちの研究プロジェクトには、どうしても、この金額が必要なので、再提出したとしても将来的に研究費は足りなくなります。「今回はギブアップする」「その他の方法を考える」といった選択肢が頭をよぎりました。皆さんだったら、どうさ

れますか。

私たちの決定は再提出することでした。同じ年の2014年7月に再提出しました。結果がわかるのは次の年の1月になります。もしOKになったとしても、将来的に研究費が足りなくなることは目に見えていましたので、他の研究費の可能性はないか探りました。

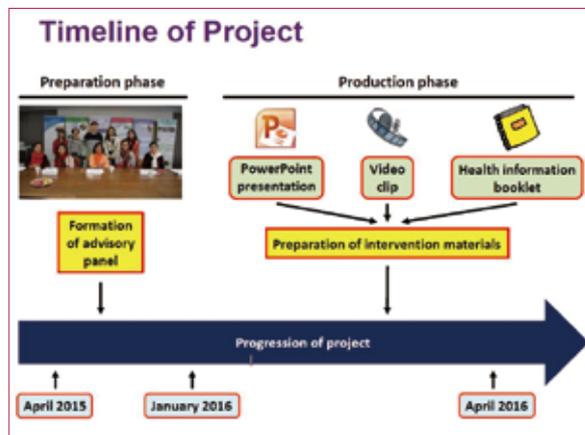
幸運なことに大学でノレッジ・トランスファーのプロジェクトへの助成金がありました。ファンドの目的は私たちの目的と合っていたので、大学のファンドにも応募することにしました。2014年12月、がんの種類を変えて同じ内容で計画書を提出しました。一方は乳がん、もう一方は子宮がんの予防。ターゲットは同じ少数民族です。うまくいけば双方から研究費を得ることができます。

外部のファンディングボディは審査に時間がかかりますが、大学のファンドはレビュープロセスが速い。双方とも同じ時期に結果が出ました。どうなったと思いますか。

幸運にも双方から研究費がつかしました。がんの種類を増やして研究内容を拡大することができたのです。

研究結果：少数民族の協会・団体 62 のうちの 48 がプロジェクトを支持

プロジェクトは最初の段階でアドバイザリーパネルをつくり、少数民族の人に入ってもらいました。パワーポイントによるプレゼンテーション資料、ビデオクリップ、健康情報の冊子など、さまざまな教材をつくりました。プロモーションにあたってはコミュニティセンターにポスターを張り、少数民族のネットワークなどを活用しました。

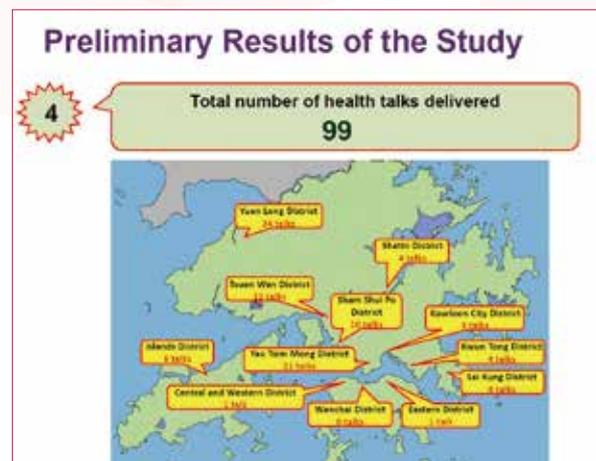


マルチメディアのプログラムとして、いろいろところで話をしたり、ビデオクリップを使って発表したりといっ

たことにも取り組みました。2年間のプロジェクトで、2016年12月に終了しました。

簡単に研究の結果をまとめると、私たちのプロジェクトを支持してくれた少数民族の協会・団体は62のうちの48で、78%でした。また、1,859人の少数民族の人がヘルストークなど、いろいろな場に参加してくれました。ブックレットも3,000部以上、配布しました。

プロジェクトチームのメンバーは香港中を駆け巡りました、少数民族の人たちは、いろいろな地域に分かれて住んでいるからです。トータルヘルストークの回数は99回を数えました。研究プロジェクトは終了しましたが、少数民族の人たちから「ヘルストークを続けてほしい」という要望があり、現在も継続して行なわれています。



3番目のプロジェクト：次の研究プロジェクトへの挑戦が始まった

2番目の研究プロジェクトも終了し、次の研究プロジェクトへの挑戦が始まりました。10ページの研究テーマを、もう一度、ご覧ください。次は、どの研究テーマを選んだと思いますか。

私は、がんの種類を変えて1番を続けることにしました。2番目のプロジェクトと同じファンディングボディから助成金を得たいと考えました。今回も金額が多いほうか、少ないほうか選択しなければいけません。皆さんだったら、どうしますか。

私は今回も金額の大きいほうを選択しました。今回は大腸がんの予防をターゲットにしました。結果は2017年1月に知らされました。

残念なことに不採用でした。ファンドからは前回のよう「金額が少ないほうの研究費にしたい」というサジェスションもありませんでした。実は今回は楽観的に考えていました。私たちは、これまでのプロジェク

トを通してパブリックセクターや民間のセクターなど約50の組織との関係性を構築し、多くの実績を残してきました。そこを評価してもらえると思っていたからです。

2017年7月、再提出する予定です。結果が出るのは2018年1月で、あらためて皆さんに、ご報告します。再提出の際、テーマを変えて「子どもたちやティーンエージャー向けの教育プログラム開発」にしたり、金額を少ないほうのプランに変更したりすることもできます。まだ決定していません。

研究結果は出版、記者会見など、いろいろな機会を利用して発表

2011年から始まって2017年に至るまで7年間かけて、私たちは研究から公共政策・実践・実際へのノレッジ・トランスファーを行なってきました。この長いプロセスから学ぶことも大変に多かった。何点か、お話しさせていただきます。

まず研究費が、とても重要です。研究を行うためには必要不可欠といってよい。自身の経験、専門性、これまでの実績も重要です。研究費を使って、いい研究を行えるかどうか、そういう能力があるかどうかの見極めに使われるからです。

ですから、研究結果は必ず発表しなければなりません。出版したり、記者会見を開いたり、いろいろなところで発表したりする必要があります。

ゴールを達成するために、さまざまな機会があります。例えば私たちのプロジェクトのように、少数民族をターゲットにしたヘルスプロモーションの研究プロジェクトであれば、それに関連したファンディングボディを探す機会、従来とは違った考えをする、新しいことを試してみるという機会などがありました。

最初に上司から「新しいファンディングスキームにトライなさい」と命じられました。大変なプレッシャーでしたので、その段階でギブアップしていたら、その後の成果も経験もありません。

チームプレイを学ぶこともできました。エビデンスに基づくプラクティスにつなげることは、ひとりではできません。共通の目標を達成するためにはチームメンバーだけではなく、その他の臨床のパートナーや、いろいろな人とのパートナーシップも必要になります。

あきらめないことも重要です。現実には1回では、うまくいかないかもしれませんが、もう一度トライする機会がある。決してあきらめてはいけません。ノレッジ・ト

ランスファーのプロセスは、とても長くなりますが、皆さんが情熱と明確なゴールを持っていれば、その過程から、たくさんの学びが得られます。また、プロセスを楽しむこともできます。

マイノリティーに力を与えていたが、逆に私たちに力を与えてくれた

今日お話ししたプロジェクトに関連する文献を2つご紹介します。ひとつは私の著作で、『相互コラボレーション：少数民族女性へのエンパワメントが逆に私にも力を与えてくれた』です。最初は私たちがマイノリティーの人たちに力を与えていると思っていましたが、結果的には、その人たちから多くのことを学び、逆に私たちに大きな力を与えてくれました。

ふたつは学会の報告書で、『がん治療におけるエビデンスベースのプラクティスの開発と実践：課題と機会』と題するものです。看護のケアに関するエビデンステキストのプラクティスの開発と実践、課題と機会についてまとめました。

少数民族だけではなく、他のマイノリティーの人たちを対象としたものも含まれています。皆さんもノレッジ・トランスファーの旅の途中にいらっしゃいます。皆さんの経験が発表される日を楽しみに待っています。

最後のまとめです。ノレッジ・トランスファーは研究で得た知識を、実践や公共政策に生かし、社会に還元していくことです。知識から実践への継続的なプロセスといえます。

研究課題で一番大事なことは社会のニーズや患者さんのニーズと合致しているかどうかです。ノレッジ・トランスファーのプロセスは長いのですが、ぜひ、そのプロセスを楽しんでいただき、途中でギブアップしないようにお願いし、本日のお話とさせていただきます。








Faculty of Nursing and Medical Care, Keio University
International Oncology Nursing Seminar
 6th February 2017

Knowledge transfer in cancer care: opportunities and challenges

Dr Winnie SO
 Associate Professor, The Nethersole School of Nursing, The Chinese University of Hong Kong
 President, Asian Oncology Nursing Society

Purpose of the Seminar

- Experience sharing in translating research findings into practice. 
- Get you involved in the decision making process throughout my journey in knowledge transfer. 
- Seek for your suggestions on the next steps of knowledge transfer. 







Ice Breaking

- Introduce yourselves
 - How would you like to be called? (Please help me remember your names!)
 - What is the topic of your master thesis / PhD dissertation?
 - Why this topic?
 - What are your career plans for the next 10 years?









Did you think of the following questions?

1. Who do you want to be in 10 years from now?
2. How do you get there in 10 years?









What do you want to be in 10 years from now?



Academia
 E.g. Lecturer, Professor

Management
 E.g. Manager, Director

Clinical
 E.g. Nurse specialist, Nurse practitioner









How do I get there in 10 years?












What is your aspiration when you conduct research in cancer care?







What is your aspiration when you conduct your research study?



Advance nursing practice

Generate knowledge in cancer care

Improve patient outcomes

Obtain a master/PhD degree

JAN
 Journal of Advanced Nursing
 Research in Cancer Care
 Strategies for nursing South Asian women to cancer screening research and the future team
 Published in high impact journals

To become an academic







What is knowledge transfer?

Knowledge Transfer



Knowledge



Practice

My journey of knowledge transfer 2011 - 2017



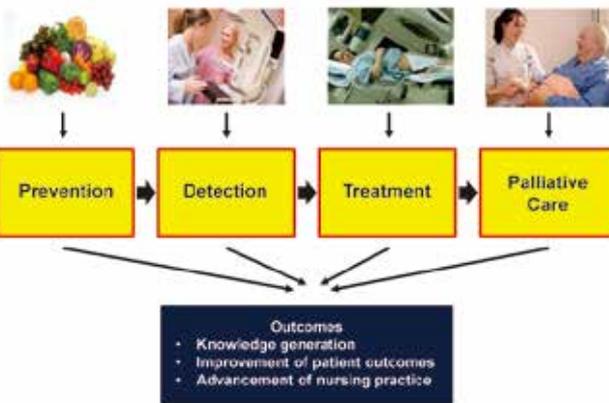
The Cancer Palliative Care Research Group

Our Mission

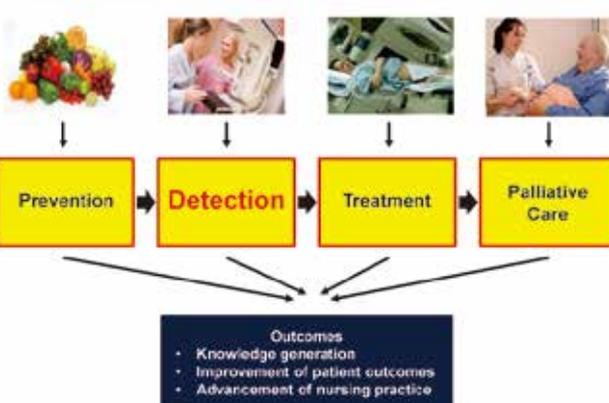
To *relieve the global burden of cancer and advanced stage diseases* by increasing access to and utilization of *evidence-based knowledge* that nurses can employ to improve the *health and well-being* of people.



The Cancer Care Continuum



The Cancer Care Continuum



Sources of Research Problem

- External sources (e.g. funding bodies) 
- Research experience / expertise 
- Literature 
- Social issues 

In 2011...

Research vs. Resources



Funding opportunities



Public Policy Research Scheme 2012-2013



To think about the research direction

To advance knowledge on cancer and palliative care

To contribute to public policy formulation

Research Question Formulation

How would you develop a research topic which is related to cancer and palliative care and can contribute to public policy?

Sources of Research Problem

- External sources (e.g. funding bodies)
- Research experience / expertise
- Literature
- Social issues



Sources of Research Problem

- External sources (e.g. funding bodies)
- Research experience / expertise
- Literature
- Social issues



A LIST OF RESEARCH AREAS INDICATED BY CENTRAL POLICY UNIT

(for the Public Policy Research Funding Scheme 2012/13)

Social

- Tackling Poverty and Inequality
- Youth Development and Employment
- Population Policies
- Tackling the Ageing Population
- Racial-ethnic Minorities

Public Administration / Government

- Economic Development
- Effective Governance and Administration
- Use of New Media and Approach for Engagement with Young People

Economic

- Harmonising the Opportunities and Meeting the Challenges Arising from the implementation of China's Twelve Five-Year Plan, including financial cooperation with the Mainland
- Economic Development, including Developing the Six Industries and Reinforcing the Four Traditional (M) Industries
- Regional Cooperation and Development

Which research area do you think is relevant to nursing and cancer care? Why?



A LIST OF RESEARCH AREAS INDICATED BY CENTRAL POLICY UNIT

(for the Public Policy Research Funding Scheme 2012/13)

Social

- Tackling Poverty and Inequality
- Youth Development and Employment
- Population Policies
- Tackling the Ageing Population
- Racial-ethnic Minorities

Public Administration / Government

- Economic Development
- Effective Governance and Administration
- Use of New Media and Approach for Engagement with Young People

Economic

- Harmonising the Opportunities and Meeting the Challenges Arising from the implementation of China's Twelve Five-Year Plan, including financial cooperation with the Mainland
- Economic Development, including Developing the Six Industries and Reinforcing the Four Traditional (M) Industries
- Regional Cooperation and Development

Which research area do you think is relevant to nursing and cancer care? Why?



Sources of Research Problem

- External sources (e.g. funding bodies)
- Research experience / expertise
- Literature
- Social issues



Sources of Research Problem – Research Experience and Expertise

Specialty:
Cancer care

Research areas:

- Cancer prevention and early detection
- Symptom management
- Quality of life



Winnie K.W. SO
Associate Professor

Qualifications

PhD

Tel: (852) 3943 1072

Email: winnie@polyu.edu.hk

Research Expertise

Public Health

Researcher ID

Cancer prevention, symptom experience and management, supportive care needs and quality of life of cancer patients

ORCID

A:1004-2015



Sources of Research Problem – Research Experience and Expertise

Research projects:

- Cancer prevention and early detection
 - A survey of the uptake of cancer screening in Hong Kong amongst Chinese older people
- Symptom experience / management and quality of life
 - Investigating the role of the nurse in managing chemotherapy induced nausea and vomiting – an international survey.
 - The symptom cluster and quality of life in patients with breast cancer undergoing cancer treatment.

Which research area would you select for preparing a grant proposal that fit in the theme of the Public Policy Research Scheme:2012/2013?

Sources of Research Problem – Research Experience and Expertise

Research projects:

- **Cancer prevention and early detection**
 - A survey of the uptake of cancer screening in Hong Kong amongst Chinese older people
- Symptom experience / management and quality of life
 - Investigating the role of the nurse in managing chemotherapy induced nausea and vomiting – an international survey.
 - The symptom cluster and quality of life in patients with breast cancer undergoing cancer treatment.

Sources of Research Problem – Research Experience and Expertise

Publications and presentations related to cancer prevention and early detection of cancer

- Chan, C.W.H., Chan, H.Y.L., Choi, K.C., Lee, G.C.T., Wong, J.C.L., So, W.K.W., Ho, S.S.M., Shu, A.T.Y., Goggins, W. and Lam, W.W.T. (2011). A population-based survey of cervical cancer screening among Hong Kong Chinese women aged 50 years or above. Fifth Pan-Pacific Nursing Conference and Seventh Nursing Symposium on Cancer Care, September 22-24, 2011, Hong Kong, China.
- Choi, K.C., So, W.K.W., Chan, D.N.S., Shu, A.T.Y., Ho, S.S.M., Chan, H.Y.L., Lam, W.W.T., Cheng, K.K.F., Goggins, W.B., Chan, C.W.H. (2012). Gender differences in colorectal cancer screening behaviors in Chinese older adults. International Nursing Conference "Nursing, Caring to Know, Knowing to Care", June 4-7, 2012, Jerusalem, Israel.
- Choi, K.C., Chan, H.Y.L., Chan, D.N.S., Lam, W.W.T., Chan, C.W.H., Ho, S.S.S., Chow, K.M., Cheng, K.K.F., Goggins, W.B., Shu, A.T.Y., So, W.K.W. (2012). The mediating role of health professionals' recommendations in the uptake of colorectal cancer testing among older Chinese adults. MASCO/ISDO 2012 International Symposium, June 28-30, 2012, New York, U.S.A.
- Ho, S.S.M., Wong, J.C.L., Lam, W.W.T., Chan, C.W.H., Shu, A.T.Y., Goggins, W., Choi, K.C., So, W.K.W., Chan, H.Y.L., Tang, W.P.Y. (2011). Uptake of breast cancer screening in women aged 50 years or above: A population-based survey. Fifth Pan-Pacific Nursing Conference and Seventh Nursing Symposium on Cancer Care, September 22-24, 2011, Hong Kong, China.
- So, W.K.W., Choi, K.C., Chan, D.N.S., Chan, C.W.H., Shu, A.T.Y., Ho, S.S.S., Chan, H.Y.L., Lam, W.W.T., Cheng, K.K.F., Goggins, W.B. (2012). Colorectal cancer testing and associated factors among older Chinese adults. Preventive Medicine, 54, 104-105.
- So, W.K.W., Choi, K.C., Chan, D.N.S., Shu, A.T.Y., Ho, S.S.S., Chan, H.Y.L., Lam, W.W.T., Cheng, K.K.F., Goggins, W.B., and Chan, C.W.H. (2012). Colorectal cancer screening behaviour and associated factors among Chinese aged 50 and above in Hong Kong – a population-based survey. European Journal of Oncology Nursing, 16, 413-415.

Sources of Research Problem

- External sources (e.g. funding bodies) 
- Research experience / expertise 
- Literature 
- Social issues 

Sources of Research Problem – Literature

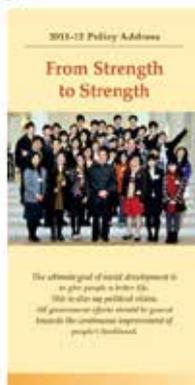
What was found in literature

- 5% of the Hong Kong population are ethnic minorities; The majority of them are South Asians. (Census and Statistics Department, 2011)
- Western studies showed that ethnic minorities are less likely to access preventive services and that they encounter more barriers in doing so than do the general population. (Bhopal et al, 2012; Poonawalla et al, 2014)
- Limited number of similar studies have been conducted in Hong Kong.

Sources of Research Problem

- External sources (e.g. funding bodies) 
- Research experience / expertise 
- Literature 
- Social issues 

Sources of Research Problem – Social issues



Sources of Research Problem – Social issues

Policy Address

New Arrivals and Ethnic Minorities

100. We will step up the support services for ethnic minorities and new arrivals from the Mainland to facilitate their integration into the community, and to foster mutual understanding and respect within the community. On employment support, ethnic minorities and new arrivals may take courses specially designed for them by the ERB. They may also obtain employment services at special counters in the LD's job centres. In addition, the LD will organise more job fairs in different districts to help ethnic minorities and new arrivals find jobs. We will set up an additional support service centre and two sub-centres for ethnic minorities, extend integration programmes and provide more radio programmes in minority languages.

Sources of Research Problem – Social issues

Policy Address

Primary Care Services

111. In collaboration with healthcare professions, the Government has mapped out a long-term development strategy for primary care, which is being implemented step by step. We have allocated over \$5.3 billion since 2009 to **enhance primary care services** and take forward a number of pilot projects. In the coming year, we will implement measures such as extending the Elderly Health Care Voucher Pilot Scheme and doubling the voucher value, as well as opening a community health centre in Tin Shui Wai. We will also jointly implement pilot projects with voluntary agencies to provide health screening services for the elderly to enhance preventive care.



Sources of Research Problem

- **External sources (e.g. funding bodies)**
 - **Ethnic minorities** as one of the scopes of funding bodies.
- **Research experience / expertise**
 - **Cancer prevention and early detection** as one area of my expertise.
- **Literature**
 - Studies revealed a **low utilization rate of cancer screening among ethnic minorities**.
- **Social issues**
 - **Enhancement of support services for ethnic minorities and primary care services** as a public policy in Hong Kong.



Proposed project

Perspectives on cancer preventive services for ethnic minorities: implications for service needs and utilization



Perspectives on cancer preventive services for ethnic minorities: implications for service needs and utilization

Proposal was submitted to Public Policy Research Funding Scheme in Dec 2011

On average, success rate = 20%
Announcement of result: June 2012

Possible outcomes

1. Funded
2. Potentially funded subject to minor revision
3. Resubmission to the next round after address reviewers' comments
4. Rejected



Perspectives on cancer preventive services for ethnic minorities: implications for service needs and utilization

Proposal was submitted to Public Policy Research Funding Scheme in Dec 2011

On average, success rate = 20%
Announcement of result: June 2012

Result:

Funded!!!



IAN

RESEARCH PROTOCOL

Perspectives on the use of and service needs of cancer preventive services for ethnic minorities in Hong Kong: a study protocol

Wong W-C, Ho Chan W-K, Chan K-L, Chan C-H, Chan P-S, Chan S-S

12/2011-06/2012

12/2011-06/2012

So et al, 2013
doi: 10.1111/jan.12067

Objectives
To explore the perspectives of ethnic minorities on their utilization of cancer preventive services, to identify their service needs, and to explore the barriers to their utilization of cancer preventive services. The study will explore the service needs of ethnic minorities in Hong Kong and the barriers to their utilization of cancer preventive services. The study will explore the service needs of ethnic minorities in Hong Kong and the barriers to their utilization of cancer preventive services.

Methods
The study will explore the perspectives of ethnic minorities on their utilization of cancer preventive services, to identify their service needs, and to explore the barriers to their utilization of cancer preventive services. The study will explore the service needs of ethnic minorities in Hong Kong and the barriers to their utilization of cancer preventive services.

Challenges and opportunities throughout the research process



Findings of the Study

1. Uptake rate of various cancer screening tests among ethnic minorities is very low.
2. Major barriers for accessing cancer screening services:
 - Low levels of health literacy
 - Language barrier
 - Access to information on health and cancer preventive services
 - Cultural issues



Recommendations

- Health policy for improving cancer screening uptake among ethnic minorities should focus on three main areas: **knowledge, language and cultural differences.**
- Suggested interventions:
 - Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities.
 - Training programme for community health workers.
 - Education programme about cancer prevention and access to healthcare services for young children and teenagers.
 - Training programme for foreign medical interpreters, and enhancement of existing interpretation.



Dissemination

- Choi, K.C., So, W.K.W., Chen, J.M.T., Lau, G.C., Lee, P.C.W., Chan, C.W.H. (2015) A comparison study of the uptake of colorectal cancer testing between ethnic minorities and the general population in Hong Kong. *Asian Pacific Journal of Cancer Prevention*, 16 (17), 7713-7720.
- So, W. K. W., Chow, K. M., Choi, K. C., Chen, J. M. T., & Chan, C. W. H. (2015). Perceived facilitators and barriers to cervical cancer screening among ethnic minority women in Hong Kong. *Cancer Nursing*, 38(4S), S7.
- So, W.K.W., Choi, K.C., Chan, C.W.H., Chen, J.M.T., Lee, P.C.W., Chow, K.M., & Ha, S.K.N. (2016). *Perspectives on cancer screening services for South Asians in Hong Kong: Implications for service needs and utilization*. Abstract presented at the Sixth Pan-Pacific Nursing Conference and First Colloquium on Chronic Illness Care: Achieving Transformational and Sustainable Development in Health and Social Care. 2-4 March 2016, Hong Kong.



Next steps?



Knowledge



Practice



Recommendations

- Suggested interventions:
 1. Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities.
 2. Training programme for community health workers.
 3. Education programme about cancer prevention and access to healthcare services for young children and teenagers.
 4. Training programme for foreign medical interpreters, and enhancement of existing interpretation.

Which of the suggested intervention would you choose for the next step?



Recommendations

- Suggested interventions:
 1. **Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities.**
 2. Training programme for community health workers.
 3. Education programme about cancer prevention and access to healthcare services for young children and teenagers.
 4. Training programme for foreign medical interpreters, and enhancement of existing interpretation.



Knowledge transfer

Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities



Resources for Knowledge Transfer

- Health care Promotion Fund 2013/14
 - Non-Research Health Promotion Projects
 - (HKD 300,000 / JPY 4,390,737 / USD 3,866)
 - Seed Funding Scheme
 - (HKD 500,000 / JPY 7,319,885 / USD 64,436)



Resources for Knowledge Transfer

- The **Non-Research Health Promotion Project Scheme**
 - Mission:
 - To facilitate projects that help people adopt healthier lifestyles by enhancing awareness, changing adverse health behaviours or creating a conducive environment that supports good health practices.
- The **Seed Funding Scheme**
 - Aim:
 - To facilitate research for health promotion in the community
 - To encourage partnership between public, private and non-governmental organisations.
 - Scope:
 - Support the development of innovative, effective and sustainable programmes in the community.



Resources for Knowledge Transfer

- Health care Promotion Fund 2013/14
 - Non-Research Health Promotion Projects
 - (HKD 300,000 / JPY 4,390,787 / USD 3,866)
 - Seed Funding Scheme
 - (HKD 500,000 / JPY 7,319,885 / USD 64,436)

Which one would you target? Why?



Resources for Knowledge Transfer

- Health care Promotion Fund 2013/14
 - Seed Funding Scheme
 - (HKD 500,000 / JPY 7,319,885 / USD 64,436)

Proposed project

Development of multimedia interventions to promote breast cancer prevention among South Asian women in Hong Kong



Development of multimedia interventions to promote breast cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

Proposal was submitted to Health Care Promotion Fund in July 2013

On average, success rate = 30%

Announcement of result: January 2014

Possible outcomes

1. Funded
2. Potentially funded subject to minor revision
3. Resubmission to the next round after address reviewers' comments
4. Rejected

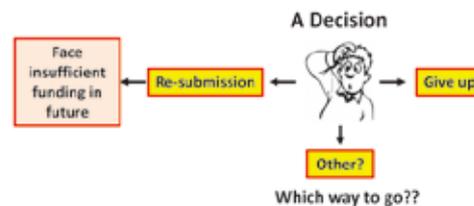


Development of multimedia interventions to promote breast cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

Result:

Resubmission!!!

Comment: This proposal should be submitted for **Non-Research Health Promotion Projects** (HKD 300,000 / JPY 4,390,787 / USD 3,866)



Development of multimedia interventions to promote breast cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

Decision:

Resubmission of the revised proposal to Health Care Promotion Fund 2014/15 in July 2014 (Non-Research Health Promotion Projects)

Announcement of the result: January 2015

Knowledge Transfer Project Fund (KTF) 2014/15
Call for Proposals

This new round of funding is open organized with emphasis on interdisciplinarity and strategic partnership, which under effective change and movements to the benefit of the industry and society.

Proposals demonstrating elements of such synergies within and outside the University may apply in the category of KTF projects at up to HKD400,000 each. Themes for this academic year are:

- Elderly Care, Active Ageing
- Sustainable Communities and Environment

Proposals more like the industrial projects funded in the past three years belong to KTF2 projects where diversity and new initiatives are expected.

Application Procedures

Proposals submitted according to its template and in compliance with the Proposal Guide should first be endorsed by the Department Chairperson and then the Faculty Dean, and be forwarded to KTF.

Funding decisions will be announced around mid January 2015.

Deadline for proposal submission

- Internal KTF2 proposals should be submitted to Faculty by 8 December 2014 for funding.
- KTF proposals and proposals from non-faculty based research institutes should be submitted to KTF2-Unit by 10 December 2014.

Get connected

- For further details: www.cuhk.edu.hk/knowledge-transfer-and-innovation/funding-when-to-apply/
- For successful cases (2011-2014): www.cuhk.edu.hk/knowledge-transfer-and-innovation/governance-reporting/

Enquiries

Dr. Yoon-Keung
 KTF2-Unit Director/Chairman
 001 3771 / yoonk@hku.hk

Development of multimedia interventions to promote breast cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

Decision:

Resubmission of the revised proposal to Health Care Promotion Fund 2014/15 in July 2014 (Non-Research Health Promotion Projects)

Announcement of the result: January 2015

Extra resources??



Resources for Knowledge Transfer

- Knowledge Transfer Project Fund 2014/15

Proposal was submitted to Health Care Promotion Fund in December 2014

Proposed project

Development of multimedia interventions to promote **cervical cancer prevention** among South Asian women in Hong Kong

Logos of The Chinese University of Hong Kong, Faculty of Medicine, and other institutional symbols.

Development of multimedia interventions to promote cervical cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

- Health care Promotion Fund 2014/15
- Knowledge Transfer Project Fund 2014/15

Announcement of result: January 2015

Possible outcomes

1. Funded
2. Potentially funded subject to minor revision
3. Resubmission to the next round after address reviewers' comments
4. Rejected



Development of multimedia interventions to promote cervical cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

- Health care Promotion Fund 2014/15
- Knowledge Transfer Project Fund 2014/15

Announcement of result: January 2015

Result:

Funded!!!



Timeline of Project

Preparation phase



Formation of advisory panel

Production phase



Preparation of intervention materials

Progression of project

April 2015

January 2016

April 2016

Timeline of Project (Cont'd)

Implementation phase



Promotion of intervention to EM associations

Delivery of intervention

Progression of project

May 2016

June 2016

December 2016

Preliminary Results of the Study

1. Number of ethnic minority associations willing to support our intervention
48 out of 62 (78%)
2. Total number of participants attending the health talks
1859
3. Total number of health information booklets distributed
3000



Preliminary Results of the Study

4. Total number of health talks delivered
99



Next step?

- Health policy for improving cancer screening uptake among ethnic minorities should focus on three main areas: **knowledge, language and cultural differences.**
- Suggested interventions:
 1. Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities.
 2. Training programme for community health workers
 3. Education programme about cancer prevention and access to healthcare services for young children and teenagers
 4. Training programme for foreign medical interpreters, and enhancement of existing interpretation

Now, which of the suggested intervention would you choose for the next step?



Next step?

- Health policy for improving cancer screening uptake among ethnic minorities should focus on three main areas: **knowledge, language and cultural differences.**
- Suggested interventions:
 1. Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities.
 2. Training programme for community health workers
 3. Education programme about cancer prevention and access to healthcare services for young children and teenagers
 4. Training programme for foreign medical interpreters, and enhancement of existing interpretation

Expand our intervention for promoting colorectal cancer prevention



Resources for Knowledge Transfer

- Health care Promotion Fund 2013/14
 - Non-Research Health Promotion Projects
 - (HKD 300,000 / JPY 4,390,787 / USD 3,866)
 - Seed Funding Scheme
 - (HKD 500,000 / JPY 7,319,885 / USD 64,436)

Which one would you target? Why?



Resources for Knowledge Transfer

- Health care Promotion Fund 2013/14
 - Non-Research Health Promotion Projects
 - (HKD 300,000 / JPY 4,390,787 / USD 3,866)
 - **Seed Funding Scheme**
 - (HKD 500,000 / JPY 7,319,885 / USD 64,436)



Resources for Knowledge Transfer

- **Health care Promotion Fund 2013/14**
 - Seed Funding Scheme
 - (HKD 500,000 / JPY 7,319,885 / USD 64,436)

Proposed project

Development of multimedia interventions to promote colorectal cancer prevention among South Asian women in Hong Kong



Development of multimedia interventions to promote colorectal cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

Proposal was submitted to Health Care Promotion Fund in July 2016

On average, success rate = 30%

Announcement of result: January 2017

Possible outcomes

1. Funded
2. Potentially funded subject to minor revision
3. Resubmission to the next round after address reviewers' comments
4. Rejected

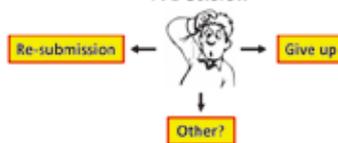


Development of multimedia interventions to promote colorectal cancer prevention among South Asian women in Hong Kong

Result:

Resubmission!!!

A Decision



Which way to go??



What else we can do to address the society's health needs?

- Health policy for improving cancer screening uptake among ethnic minorities should focus on three main areas: **knowledge, language and cultural differences.**
- Suggested interventions:
 1. Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities.
 2. **Training programme for community health workers.**
 3. Education programme about cancer prevention and access to healthcare services for young children and teenagers.
 4. Training programme for foreign medical interpreters, and enhancement of existing interpretation.



What else we can do to address the society's health needs?

- Health policy for improving cancer screening uptake among ethnic minorities should focus on three main areas: **knowledge, language and cultural differences.**
- Suggested interventions:
 1. Culturally and linguistically relevant health promotion packages for ethnic minorities.
 2. Training programme for community health workers.
 3. **Education programme about cancer prevention and access to healthcare services for young children and teenagers.**
 4. Training programme for foreign medical interpreters, and enhancement of existing interpretation.



The Knowledge Transfer Journey



Research



Practice



Reflections of the Knowledge Transfer Journey

Resources — Research — Practice

Develop own expertise and experience

Look for and value every opportunity

Think outside the box

Develop networks and rapports

Perseverance – never give up!

Life-long journey – enjoy its process!

So et al, 2016

So et al, 2016

Insights

Mutual Collaboration: Empowering Ethnic Minority Women, Empowering Myself

W... (text of the article)

Development and Implementation of Evidence-Based Practice in Cancer Care: Challenges and Opportunities

W... (text of the article)

Summary

- Knowledge transfer involves research activities on how to apply new found knowledge in practice.
- Knowledge transfer as a continuous process.



Summary

- The development of research questions may require a combination of sources, including:
 - The aims and scope of potential funding bodies.
 - Expertise and research experience of researchers
 - Published research in literature
 - Reported social issues



Summary

- Enjoy the process and never give up!



References

- Bhopal RS, Eansal N, Steiner M, Brewster DH, on behalf of the Scottish Health Ethnicity Linkage Study. Does the 'Scottish effect' apply to all ethnic groups? All-cancer, lung, colorectal, breast and prostate cancer in the Scottish health and ethnicity linkage cohort study. *BMJ Open*. January 1, 2012 2012;2(5)
- Census and Statistics Department (2011) Thematic Report: Ethnic Minorities. Retrieved from <http://www.census2011.gov.hk/pdf/EM.pdf>. Accessed in July 2015.
- Poonawalla IB, Goyal S, Mehrotra N, Allicock M, Balasubramanian BA. Attitudes of South Asian women to breast health and breast cancer screening: Findings from a community based sample in the United States. *Asian Pac J Cancer Prev*. 2014;15(20):8719-8724
- So WK, Chan CW, Choi KC, Chan DN. Perspectives on the use of and service needs of cancer preventive services for ethnic minorities in Hong Kong: a study protocol. *J Adv Nurs*. 2013 Sep;69(9):2116-22. doi: 10.1111/jan.12067.
- So WK (2016) Development and implementation of evidence-based practice in cancer care: challenges and opportunities. *Asia-Pacific Journal of Oncology Nursing*.3(1), 33-36.
- So WK (2016) Mutual collaboration: Empowering ethnic minority women, empowering myself. *Cancer Nursing* 39(4), 337-338. doi: 10.1097/NCC.0000000000000398

Thank you!





10大学事業

【主催】 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
高度がん医療開発を先導する専門家の養成
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科看護学専修